

Web配信による「オンライン教材」と「ダウンロード教材」提供のご案内

プロップテックがもたらす 不動産の新ビジネス

「プロップテックがもたらす不動産の新ビジネス」の「①不動産売買仲介編」・「②賃貸仲介・管理編」・「③不動産開発・建築編」を各3時間の視聴が出来てテキストがダウンロードできます。

不動産業界はITの活用やオンライン化が進み、取引決済の非対面化や電子化に移行しつつあります。同時にIT業界では、急激にスタートアップ企業が増えています。

『プロップテック(PropTech)』はFintechの不動産版として、衣食住にかかわる

①個人・法人向け不動産関連サービスや②ITを活用した不動産事業者向けツールの活用による新しいビジネスモデルを構築していくことで事業機会が誕生しています。

<オンライン教材>

動画：約3時間(任意一日視聴)、テキスト(ダウンロード)

講師：桜井 駿(株式会社デジタルベースキャピタル代表パートナー)

定価：各20,000円(税込)

<講師プロフィール>

桜井 駿 株式会社デジタルベースキャピタル 代表パートナー

みずほ証券株式会社、株式会社NTTデータ経営研究所を経て株式会社デジタルベースキャピタルを創業。日本初となるPropTech特化型ベンチャーキャピタルを運営し、銀行、不動産会社、メガベンチャー等から資金を預かり、不動産・金融・建設など規制産業領域のスタートアップへ投資を行う。1,400名以上が参加する不動産/建設領域のスタートアップコミュニティ

PropTech JAPANの設立、経済産業省新公共サービス検討会 委員、一般社団法人Fintech協会の事務局長を歴任するなど、同領域へのエコシステム構築に携わる。主な著書に、「決定版FinTech」(共著、東洋経済新報社)、「知識ゼロからのフィンテック入門」(幻冬舎)、「超図解ブロックチェーン入門」(日本能率協会マネジメントセンター)がある。



「プロップテック不動産売買仲介編」今後の不動産売買仲介ビジネスとは何か!

「暮らし」は不動産の観点では住宅領域であり、その延長にStay(過ごす)の一時滞在。
「働く」は商業不動産領域であり、オフィス・店舗・ショッピングモール・倉庫といった場所・不動産が不可欠。PropTech が対象とする不動産は、エンドユーザーにとって「暮らし」や「働く」の中にあるさまざまな目的を実現するビジネスです。

<主な内容>

- (1) 不動産情報、データの取り扱い
- (2) 消費者起点の規制改革
- (3) 大手企業、中堅・中小企業、スタートアップの連携と棲み分け
- (4) エンドユーザーの多様化による売買ビジネスへの取組み方
- (5) 国内外の取組事例
- (6) 仲介業の本質と優位性、業務フローの変化
- (7) 地域企業にもたらされる機会

詳細：<https://www.21-pub.co.jp/teach/detail/000093.html>

「プロップテック不動産賃貸仲介・管理編」の新たなビジネスモデル構築

<主な内容>

- (1) 国内外の取組事例
 - ① サブリース、借り上げ型モデル
 - ② 賃貸、管理効率化ソリューション
 - ③ 一気通貫オンライン仲介の衝撃
 - ④ SNS、Fintech等による「集客」機能の多様化と顧客データの蓄積
- (2) プレーヤー型モデルの可能性
 - ① 実需を抑えた金融事業への展開
 - ② 物件データと顧客データ蓄積による民間インフラ化
- (3) 賃貸仲介・管理業のビジネス機会
 - ① 加速する特化型ビジネス
 - ② 一括管理プラットフォームの台頭
- (4) 地域企業にもたらされる機会
 - ① 特定の地域、顧客層に特化したコンサルティング企業

詳細：<https://www.21-pub.co.jp/teach/detail/000094.html>

「プロップテック不動産開発・建築編」のビジネスチャンスへの取組み方を解説

<主な内容>

- (1) 開発、建築分野の全体像
- (2) 国内外の取組事例
- (3) 建設テックの進出
- (4) 施工管理、建設SaaS
- (5) BIM/CIMの活用
- (6) スマートハウス、IoT
- (7) 投資プラットフォーム
- (8) 建設と不動産が融合するデータビジネス
- (9) 活発化するESG、SDGsへの対応
- (10) 仕入れ業務の効率化
- (11) 地域企業にもたらされる機会

詳細：<https://www.21-pub.co.jp/teach/detail/000095.html>